

CADPACCREATOR 2D Ver.27.0

新機能・追加機能 概要

■汎用機能

1. DXF・DWG 入力 単位系の警告.....	2
2. DXF・DWG 入力 図面のプロパティ.....	2
3. DXF・DWG 入力 寸法文字.....	3
4. DXF・DWG 出力 寸法文字.....	3
5. 中心線.....	3
6. 円寸法.....	3
7. 寸法変更.....	4
8. 寸法検査表作成.....	4
9. 注釈.....	6
10. パルーン.....	7
11. 変形.....	7
12. システム設定 キー定義.....	7

■機械オプション

13. 側面円.....	8
14. 弧状長穴.....	8
15. 注釈 (タップ, 穴, 深ざぐり, 管用テーパ, 皿ざぐり).....	9

■その他のオプション

16. JIS 機械/パーツ.....	9
17. SOLIDWORKS インターフェース.....	9

Ver.27.0 新機能

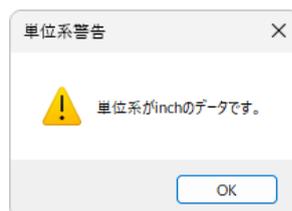
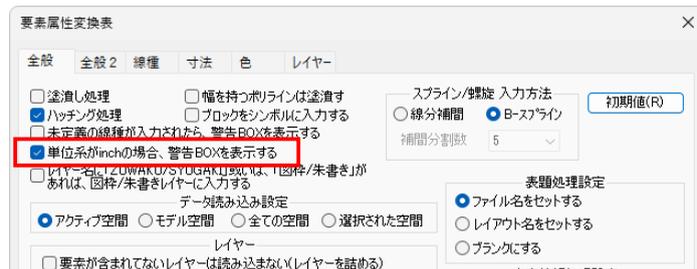
CADPAC-CREATOR Ver.27.0 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.26.0からの差分です)

汎用機能

1. DXF・DWG 入力 単位系の警告

単位系が inch に設定されている図面を読み込んだ時に、警告を表示します。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



※ 本コマンド以外からの読み込み（「一括変換」コマンドや、ファイルのドラッグ&ドロップなど）では、警告メッセージは表示させません。

2. DXF・DWG 入力 図面のプロパティ

図面のカスタムプロパティを、CADPAC の図面属性として変換できるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



AutoCAD カスタムプロパティ



CADPAC 図面属性

3. DXF・DWG 入力 寸法文字

寸法文字が寸法のプロパティとイメージデータの寸法文字とで合致していない場合、イメージデータの文字内容を反映するようになりました。平行寸法は対応済で、今回対応した寸法は、直径 / 半径 / 折り曲げ半径 / 弧長 / 角度寸法です。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

4. DXF・DWG 出力 寸法文字

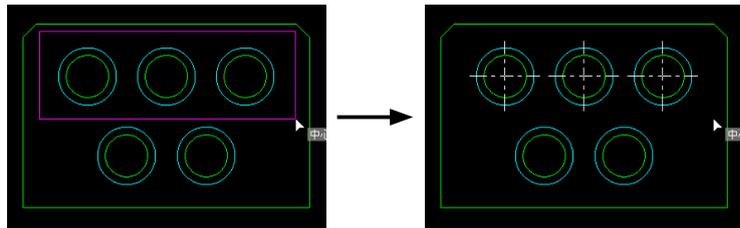
各寸法文字の「文字間隔」が正しく反映されるよう改善されました。

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

5. 中心線

複数の円や円弧、丸めに対して一括で十字の中心線を作図出来るようになりました。

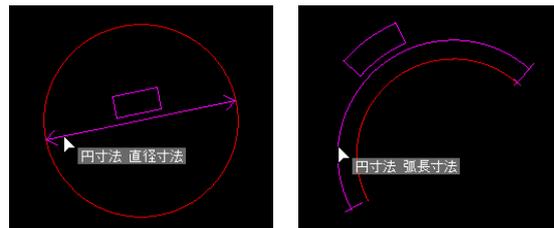
[作図 / 直線 / 中心線]



6. 円寸法

直径寸法 (形状: 標準・両外寸・外寸外無)、弧長寸法の文字位置を、寸法線の中央に固定できるようになりました。

[作図 / 寸法 / 円寸法]



文字が中央に固定されます。マウスポインタに追随しません。

7. 寸法変更

円寸法（形状：標準・両外寸・外寸外無）、角度寸法（形状：標準・交差・両外寸・3点指定）の矢線または寸法文字を指定した時、CSB[センターリング]が機能するようになりました。

[作図 / 寸法 / 寸法変更]



8. 寸法検査表作成

これまでお試しコマンドだった寸法検査表作成が、今回正式コマンドとして実装されました。お試し版との互換性があるので、作成した検査表や出力したファイルは継続してご利用いただけます。

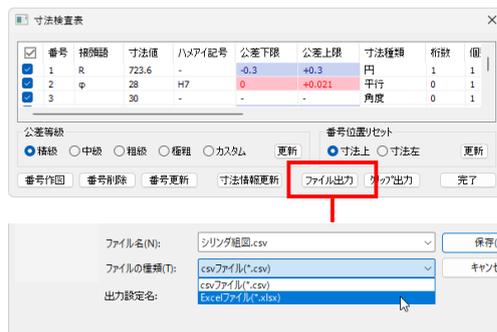
また、多数の機能拡張を行っています。

[作図 / 寸法 / 寸法検査表作成]

追加機能

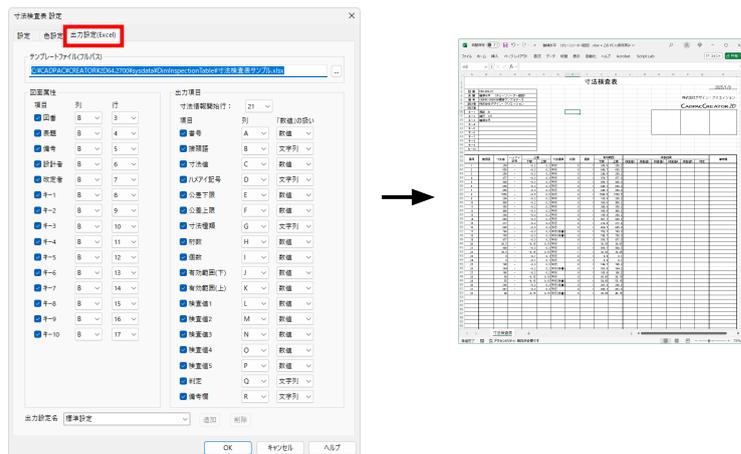
・Excel形式（.xlsx）への出力に対応し、従来のCSV形式と選択できるようになりました。

CSV形式では表題等の図面属性も出力するようになりました。



Excel形式では、出力する項目をCSB[設定]から個別に指定でき、テンプレートファイルに出力します。

出力設定は保存 / 呼出が可能です。



- ・寸法値に個数が記入されている場合、その個数の分リストに展開し、検査表に反映できるようになりました。個別展開した寸法の番号に、枝番を付加することも可能です。



- ・検査結果の色を指定できるようになりました。



- ・実計測値の入力欄と判定欄を追加しました。入力した実計測値が有効範囲に含まれているかを自動で合否判定し、結果を表示します。

有効範囲(下)	有効範囲(上)	検査値1	検査値2	検査値3	検査値4	検査値5	判定	備考欄
29.9	30.1	30.0	29.9				OK	
29.9	30.1	31.0	30.1				NG	
59.85	60.15							
7.4	7.6							

公差等級: 精級 中級 粗級 極粗 カスタム

番号位置リセット: 寸法上 寸法左

- ・備考欄を追加しました。

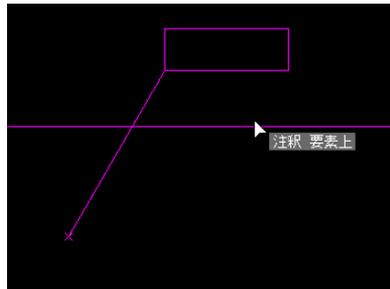


9. 注釈

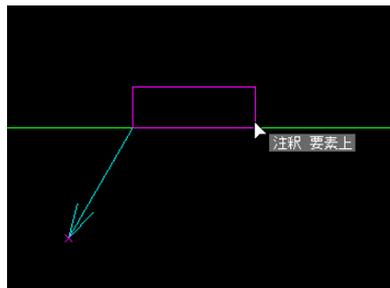
引き出し線位置を、指定した要素上に配置されるよう、動作を変更しました。

CSB[変更] がオンの時も同様の動作です。

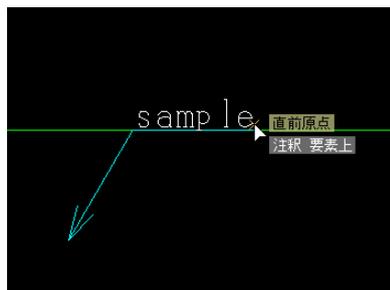
[作図 / 文字記入 / 注釈]



配置したい要素にマウスポインタを合わせます。要素がハイライトされます。



要素を指定すると、引き出し線位置が要素上に配置されます。

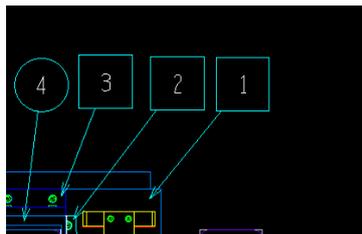
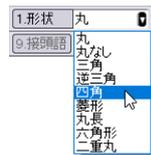
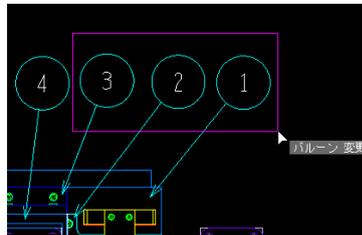
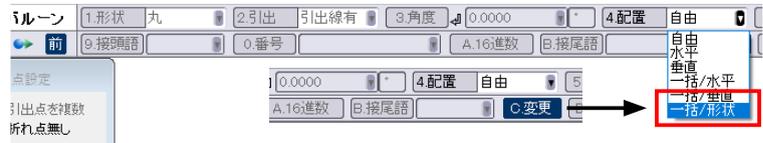


文字を入力し確定すると、注釈が作図されます。

10. バルーン

CSB[変更]から、複数のバルーンの形状を一括で変更できるようになりました。

[作図 / 文字記入 / バルーン]



11. 変形

変形の確定後、またはマウス右クリックで枠選択 CSBに戻った後、[BS]キーで直前に選択した要素の再選択が可能になりました。

[編集 / 変更 / 変形]

12. システム設定
キー定義

キー定義に関する仕様を一部見直しました。

- ・旧規格のキー名を現行規格の表記に統一しました。
- ・キー設定を変更することによって起こる一部問題を解消するため、初期状態から割り当てられているキーについては編集できないようにしました。
- ・キー定義一覧表、機能名一覧表に表示されない一部の項目について、表示されるよう対応を行いました。

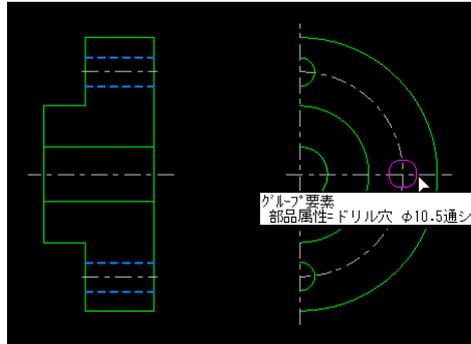
[補助 / システム設定 / キー定義]

機械オプション

13. 側面円

CSB[穴取得]で作図した側面円の穴要素に、属性を渡せるようになりました。作図された穴要素が一部でも切れている場合は、従来通りグループ要素として作図されます。

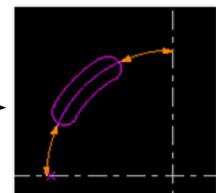
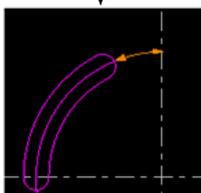
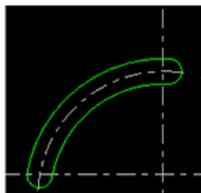
[作図 / 曲線 / 側面円]



14. 弧状長穴

CSBに[変更]を追加し、作図されている弧状長穴の変更ができるようになりました。

[専用 / 機械定型1 / 弧状長穴]



この状態で右クリックします。

固定位置が逆になります。

再度右クリックで中心で固定して両端を変形します。

再度右クリックで最初の状態に戻ります。

15. タップ注釈
 穴注釈
 深ざぐり注釈
 管用テーパ注釈
 皿ざぐり注釈

選択した複数の要素に引き出し線を作図できるようになりました。
 上面形状は選択要素すべてに、側面形状は指定した複数の箇所へ引き出し線を作成します。

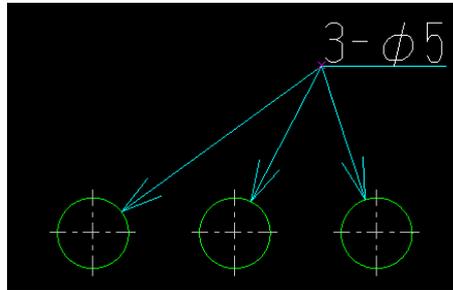
[専用 / 機械定型 3 / タップ注釈]

[専用 / 機械定型 3 / 穴注釈]

[専用 / 機械定型 3 / 深ざぐり注釈]

[専用 / 機械定型 3 / 管用テーパ注釈]

[専用 / 機械定型 3 / 皿ざぐり注釈]



その他のオプション

16. JIS 機械パーツ
 部品ライブラリ

Ver.27.0 用の最新部品ライブラリに更新されました。部品点数は約 75 万点です。保守期間中は PC に部品データをインストールせずに、オンラインでもご利用いただけます。

17. SOLIDWORKS
 インターフェース

SOLIDWORKS2025 に対応しました。

[専用 / SW インターフェース / SW インターフェースオプションの概要]